

小学生の部

憶良賞	入選	お母さん部屋のかたづけしなさいと息するように言わないでよ。ね。あれは菊これは秋桜ひとつずつ開いて歩いた祖母の裏庭。晩ご飯もくもくと食べる話題ないきまずいちゃんもく誰かしやべって妹がテレビを鏡に使ってるダンスの練習早く終われげんかんでたいたいよといえど願っているかな。ひよこっしょうめんむいた電話鳴る家族全員大集合画面でしの父少しにやける	鳥取県 倉吉市立関金小学校	6年	桑原 那菜
入選	入選	病院で初めて会った弟を下キドギしなながらゆつくり抱っこ妹がせんたくばさみ持ってきてつめきりしてるもう大人かよお父さんそばうちるとき細細くて食べる時に箸から落ちるおこっている人のまねしてインコ鳴く家族のだれのまねなんだろう田うえ中兄とどろをかけあつて服もズボンもどろどろに秋祭りみこしをかつくおとなたちひもをひっぱる津原の子ども妹がくれたタンポポがまぶしい太陽かなおうかんかないもうとけんかでいらいらあたまうちはずかしすぎてまかににげたよ妹が「おままごとしよ」休みの日ゲームはがまんばくお店役お風呂出て家族みんなの笑い声早く着替えてそつちに行きたい	鳥取県 倉吉市立杜小学校	5年	小谷 白虎
入選	入選	盆の日にひらひら後ろをついてくるその蝶々は誰だろう年一度その一言を聞きたくてちよつと小さな服を着たんだ父と姉一緒に待った流星群初観測の冬の思い出	鳥取県 倉吉市立河北小学校	6年	白水 一千花
入選	入選	こんにははぼくは手伝い大好きですなのでこれからも手伝います一人部屋居間とは違う別空間自分の好きが一目でわかる母さんとけんかした日の翌朝に父に言われた釣りに行こうよスノーボード教えるのうまいお父さんでもスピードあげて僕おいてくお父さん野球のむかえ二人の時コンビよって秘密の会話母の味再現するためお手伝い父をだませたら一人前「やめてくれ」響く声聞き集まると小さく固まる兄とカメムシ野球する父と弟見ていたら日に日に似ていく背中	鳥取県 倉吉市立久米中学校	6年	佐々木 琉貴
入選	入選	リビングで兄弟ゲンカ父の目がこつちを向いた息をのむ兄	鳥取県 倉吉市立小鴨小学校	6年	山根 虎太郎
入選	入選	倉吉市立久米中学校	鳥取県 倉吉市立久松小学校	6年	山田 陽
入選	入選	倉吉市立河北小学校	鳥取県 倉吉市立杜小学校	6年	松田 暖
入選	入選	倉吉市立明倫小学校	鳥取県 倉吉市立西伯小学校	5年	富 柚貴
入選	入選	倉吉市立河北小学校	鳥取県 倉吉市立打吹小学校	6年	山本 育満
入選	入選	倉吉市立西郷小学校	鳥取県 倉吉市立西郷小学校	6年	井田 諫
入選	入選	倉吉市立杜小学校	鳥取県 倉吉市立明倫小学校	6年	宮川 ねね
入選	入選	倉吉市立明倫小学校	鳥取県 倉吉市立西郷小学校	6年	宮川 ねね
入選	入選	倉吉市立河北小学校	鳥取県 倉吉市立西郷小学校	6年	涌嶋 美緒
入選	入選	倉吉市立杜小学校	鳥取県 倉吉市立杜小学校	6年	中村 柊和
入選	入選	倉吉市立明倫小学校	鳥取県 倉吉市立明倫小学校	6年	上村 蓮旺
入選	入選	倉吉市立河北小学校	鳥取県 倉吉市立河北小学校	6年	澤住 小晴

中学生の部

憶良賞	入選	弁当のごはんが今日はやわらかい帰って母に体調聞こう母の背に隠れし子供暮れに家族の影が長く伸びゆく帰るたび名古屋弁の兄名古屋の香り家中なんだにぎやかに盆の日にひらひら後ろをついてくるその蝶々は誰だろう年一度その一言を聞きたくてちよつと小さな服を着たんだ父と姉一緒に待った流星群初観測の冬の思い出	岡山県 岡山市立津山中学校	1年	竹内 來
入選	入選	こんにははぼくは手伝い大好きですなのでこれからも手伝います一人部屋居間とは違う別空間自分の好きが一目でわかる母さんとけんかした日の翌朝に父に言われた釣りに行こうよスノーボード教えるのうまいお父さんでもスピードあげて僕おいてくお父さん野球のむかえ二人の時コンビよって秘密の会話母の味再現するためお手伝い父をだませたら一人前「やめてくれ」響く声聞き集まると小さく固まる兄とカメムシ野球する父と弟見ていたら日に日に似ていく背中	鳥取県 倉吉市立久米中学校	1年	坂口 亜美
入選	入選	リビングで兄弟ゲンカ父の目がこつちを向いた息をのむ兄	鳥取県 倉吉市立東中学校	2年	牧 小百合
入選	入選	倉吉市立久米中学校	鳥取県 倉吉市立東中学校	2年	片山 友貴
入選	入選	倉吉市立河北中学校	鳥取県 倉吉市立西中学校	2年	山下 真惟子
入選	入選	倉吉市立西中学校	鳥取県 倉吉市立久米中学校	2年	高田 芽優
入選	入選	倉吉市立東中学校	鳥取県 倉吉市立河北中学校	1年	竹内 天吾
入選	入選	倉吉市立東中学校	鳥取県 倉吉市立東中学校	3年	大橋 穂南
入選	入選	倉吉市立東中学校	鳥取県 倉吉市立東中学校	2年	名越 翼
入選	入選	倉吉市立東中学校	鳥取県 倉吉市立東中学校	2年	山脇 悠
入選	入選	倉吉市立東中学校	鳥取県 倉吉市立東中学校	2年	田中 涼翔
入選	入選	倉吉市立西中学校	鳥取県 倉吉市立西中学校	2年	渡辺 和
入選	入選	倉吉市立西中学校	鳥取県 倉吉市立西中学校	2年	平野 海咲
入選	入選	倉吉市立西中学校	鳥取県 倉吉市立西中学校	2年	三田 和叶
入選	入選	倉吉市立西中学校	鳥取県 倉吉市立西中学校	2年	永田 麗奈

高校生の部

憶良賞	入選	母の日に渡しそびれたメツセージ本に挟んでもう5ヶ月金閣寺家族とのつたタクシーで初めて聞いた生のおおきに「遅くなる。緊急入院あったから。」僕は母の心配している父さんが節分の鬼演じたら母さん本気で豆投げつけた去年より低くなってる君の声その成長が姉は寂しい野良犬を見捨てられない人だった祖母が遺した老犬を撫でる急な雨母のかけ声裏庭で洗濯物の取り込み競争眠る父疲れた横顔かくい梨の切り方違いを知っている父秋味の祖母と母むく梨の味の切り方違いを知っている父父さんの背を越えたのは高一の文理選択決める十月父親と意気投合した金曜日ニンニク強めのラーメンすった剣道の遠征帰りの駐車場ヘッドライトの点滅は母母さんが作ってくれる水筒のお茶の温度はお天気次第妹に風邪をうつした後悔がホントミルクに少し溶けている食べかけでラップされたスバゲイそうして私もほっとかれるのじやんげんに負けてみました妹の小文字オメガの口が見たくて	新潟県 鏡形学園新潟高等学校	2年	遠藤 山太
入選	入選	妹からいつもの軽い着メロ鳴る義弟の他界知らせくる日もいらぬと言う仕送り3足1000円のくつした緩衝材とす冠水は膝丈あたり背負ひたる老婦に母の軽さを想ふ	鳥取県 鳥取県立倉吉農業高等学校	2年	山本 勝則
入選	入選	キツチンの主無き椅子対面に今日もひとり親子并何度でも忘れていよ 何度でも欠けた子等の名拾いにゆこう	新潟県 鏡形学園新潟高等学校	1年	藤井 琉輝
入選	入選	痛告知と書かれし日より空白の父の日記の空白なぞる	新潟県 鏡形学園新潟高等学校	1年	佐藤 柊
入選	入選	たたかいを語らぬ父が百歳を越え負傷せし兵の安否を憂う何もかも持つてあさうな微笑みのやや上向きな口角憎し母になる瞬間母は祖母になる祖母は曾祖母私は私	新潟県 鏡形学園新潟高等学校	2年	早川 心乃
入選	入選	鮮やかなレゴの欠片を積み上げてきみが世界を創りはじめる	新潟県 鏡形学園新潟高等学校	1年	上田 実来
入選	入選	弁当を母に頼んだ回数は母に感謝を伝えた回数	新潟県 鏡形学園新潟高等学校	1年	太田 渚
入選	入選	兄ちゃんとアツイ恋バナ深夜まで男目線の指導をもらう徘徊の母の頬傷保護されて日傘に包み警察署出る妹の涙のわけを問えず去る施設の眼下泡立つ波頭	新潟県 鏡形学園新潟高等学校	1年	佐々木 未夢
入選	入選	義務だとは露草ほどに思はねど妻の足裏を揉む昼下がりが格で親子とわかる頬骨の三角形が揃って笑う	新潟県 鏡形学園新潟高等学校	1年	花桜 陽一

一般の部

憶良賞	入選	妹からいつもの軽い着メロ鳴る義弟の他界知らせくる日もいらぬと言う仕送り3足1000円のくつした緩衝材とす冠水は膝丈あたり背負ひたる老婦に母の軽さを想ふ	高知県 高知市	桑名 知華子
入選	入選	キツチンの主無き椅子対面に今日もひとり親子并何度でも忘れていよ 何度でも欠けた子等の名拾いにゆこう	鳥取県 倉吉市	三谷 乃子
入選	入選	痛告知と書かれし日より空白の父の日記の空白なぞる	鳥取県 鳥取市	藏光 和美
入選	入選	たたかいを語らぬ父が百歳を越え負傷せし兵の安否を憂う何もかも持つてあさうな微笑みのやや上向きな口角憎し母になる瞬間母は祖母になる祖母は曾祖母私は私	鳥取県 鳥取市	中尾 妙子
入選	入選	鮮やかなレゴの欠片を積み上げてきみが世界を創りはじめる	鳥取県 倉吉市	小野 史
入選	入選	弁当を母に頼んだ回数は母に感謝を伝えた回数	鳥取県 倉吉市	小野 史
入選	入選	兄ちゃんとアツイ恋バナ深夜まで男目線の指導をもらう徘徊の母の頬傷保護されて日傘に包み警察署出る妹の涙のわけを問えず去る施設の眼下泡立つ波頭	鳥取県 倉吉市	仲川 暁実
入選	入選	義務だとは露草ほどに思はねど妻の足裏を揉む昼下がりが格で親子とわかる頬骨の三角形が揃って笑う	鳥取県 倉吉市	黒井 優樹
入選	入選	妹の涙のわけを問えず去る施設の眼下泡立つ波頭	鳥取県 倉吉市	谷口 寿々花
入選	入選	義務だとは露草ほどに思はねど妻の足裏を揉む昼下がりが格で親子とわかる頬骨の三角形が揃って笑う	鳥取県 倉吉市	伊藤 英俊
入選	入選	妹の涙のわけを問えず去る施設の眼下泡立つ波頭	鳥取県 倉吉市	福田 昭子
入選	入選	義務だとは露草ほどに思はねど妻の足裏を揉む昼下がりが格で親子とわかる頬骨の三角形が揃って笑う	鳥取県 倉吉市	黒木 淳子

山上憶良短歌賞記念講演

永田和宏短歌講演会

日時

令和7年

2月24日(月・祝)
午後1時30分～午後3時

会場

倉吉交流プラザ
2階 視聴覚ホール

定員

80名

永田 和宏 さん

JT 生命誌研究館館長、京都大学名誉教授、
京都産業大学名誉教授、短歌結社「塔」前主宰、
宮中歌会始詠進歌選者、朝日歌壇選者、
角川短歌賞選考委員

※参加無料

事前申込みが必要です。

第13回山上憶良短歌賞表彰式

日時 令和7年2月24日(月・祝) 午前11時15分～

場所 倉吉交流プラザ 2階 視聴覚ホール



問合せ
申込先

倉吉市立図書館(倉吉交流プラザ)
〒682-0816 倉吉市駄経寺町 187-1
電話 0858-47-1183
FAX 0858-47-1180

申込みはこちらから

